

# 自由民主

LIBERAL & DEMOCRATIC



## 奈良県議会議員 中野まさふみ

わが奈良、わが大和郡山をよくする基本は、心づくりにあると確信しています。つまり、国の存亡の根幹である教育をよくしなければなりません。その基本は愛国心を育むこと。子供たちに、わが国の歴史、文化、伝統を

# 日本の歴史、文化、伝統を正しく継承し、

## 「子供は国の宝、お年寄りには国の財産」の精神を

明けましておめでとございます。皆様方にはご健勝で新年をお迎えのことと存じます。

旧年中は県政において監査委員、自民党党務におきましては県連政務調査会長に就任することとなりました。これも皆様の厚いご支援、ご支持の賜物と感謝申し上げますとともに、その重責に身が引き締まる思いを感じながら新春を迎えております。

さて、昨年は度重なる台風、新潟県中

越地震と重大な災害が発生し、凶悪化する少年犯罪や家庭内暴力も数多く報じられ、県内でも何の罪もない幼い子供が命を奪われる言葉にできない凄惨な事件が起こりました。本県出身の柔道、野村選手はじめ日本勢が大活躍したアテネオリンピックが遠い過去のように思われる一年でした。

今の日本社会は病んでいます。この現状を何とかしなければなりません。一人の人間として、そして政治を志す人間として私は、その感を強くしています。わが日本は、

正しく教え、伝えていくことである。

愛国心が軍国主義に結びつけられた時代がありました。しかし、ふるさとの人や自然、歴史を愛し、大切にしようという思いを端的表現する言葉は愛国心しかありません。教育の問題にイデオロギーを持ち込むことはもうやめましょう。「不戦を誓い」平和を希求することに誰も異存はないのですから。

常々私は「子供は国の宝、お年寄りは国の財産」と訴えております。誰一人として日本に不要な人などいないのです。誰もが安心して暮らせる社会、とくに子供たちが希望を持って生きられる社会の実現に邁進したいと思えます。そのため皆様方のご支援、ご支持を心から願うものであります。そして、今年こそ、心の教育を中心にさまざまな問題について意見交換、議論を深める場をできる限り設け、県政に生かしたいと決意しているところです。

# 明るく未来へ心の教育改革を推進

——終戦60年、正しい歴史、文化、伝統を後世に——

新春対談

## 中野 雅史 県議会議員 上田 清 大和郡山市長

昨年自然災害、子供を巻き込んだ悲惨な事件が多発しただけに、2005年はいいい年にしたいと誰もが願っている。これを実現するのが政治の力だ。とくに身近な問題に取り組む地方自治は、三位一体の改革との兼ね合いもあり、その重要性が再認識されている。明日の日本をよくするのは、心の教

育をよくすることだと持論を展開する中野まさひこみ県議会議員。そして、ふるさと・大和郡山市の上田清市長は、教育者として優れた手腕を発揮してきた。新年に当たり、どうすればふるさとがよくなるのか。そして、政治の根幹である教育問題について、本音で徹底論議を展開した。

人が集まり、活気にあふれた市制施行50周年

**中野県議** 明けましておめでとうございます。昨年は、わがふるさと・大和郡山市が市制施行50周年という節目の年でした。これを記念して多彩なイベントが開催され、私自身も感慨深いものを感じました。

というのも、市制施行は昭和29年、私はその前年の生まれ。私の人生は大和郡山市と共にある。そんな思いを強くする1年でした。

**上田市長** 明けましておめでとうございます。まず、市制施行50周年記念のイベントなどに大勢の人たちに参加いただけたことに感謝いたします。私自身、11月のファイナレには感激しました。

**中野県議** 大和郡山城址に、往年の天守閣を思わせるお城が

きていた。あれには感激しました。  
**上田市長** 当初一日間だけ、設置しておく予定でしたが、好評だったので二十日間延長しました。50周年をお祝いするのにシンボルが大切です。それが、あのお城でした。でも、あのアイデアは25年前にあったんですよね。確か、中野県議も参加されていたのでは？

**中野県議** そうですね。そう言えば親子祭りの一環で、私もメンバーの一人としてお城づくりに参加したことがありましたね。若い頃にやったことが再現され本当にうれしい。市制施行50周年をきっかけに内外からたくさんの人たちを大和郡山市にお迎えできたこと。人が集まれば、活気が出る。沈滞気味の現代にいい刺激になったことが何よりよかったです。と思います。

三位一体の改革に人材の移譲も

**上田市長** 大和郡山市の工業出荷額は県内最高で、商工業が活発です。これを広く知っていただき、企業間の情報交



発泡スチロールで復元された大和郡山城

換や異業種交流になればと考え、商工フェアを開催したところ、1万6000人と予想以上の参加者がありました。ただ、経済活動は一自治体の範囲にとどまるものではありませんから、さらに、広がりを持たせる必要があります。その意味で、県との連携が求められます。中野県議には市と県をつなぐパイプとして活躍していただきたい。

**中野県議** 私自身、地場産業にかかわる一人でもあり、今後も積極的に働きかけていきたいと思えます。今の日本をよくするためには、経済と教





**中野県議** 私の基本的な考え  
方として「子供は国の宝、お  
年寄りも国の財産」と申し上  
げています。子供とお年寄り

**日常生活から  
地域の安全を実現する**

育をよくしなければならぬ。もったいといえば、経済と教育がよくなれば、問題の大半は解決できるだろうと思っています。教育問題については後でお話をすると、地域経済をよくするためにがんばっていきます。さて、今年、小泉首相が進める三位一体の改革が本格的に動き出す年になると思っています。行政の最前線、市長としては、どのように考えておられますか。

**上田市長** 財源や権限が地方に移譲されることは結構なことです。しかし、自立し、独自の政策を実行するために自治体は必要な能力を備えなければならぬ。マンパワーが必要です。人材の移譲についても考えることが大切だと思います。



この問題は地方自治体にとって最大の課題ですが、お年寄りが持つておられる知恵を地域や政治に生かす。上田市長が言われる自治体の自立のために、この視点を大切に県政の場で発言をしていきます。さて、最近、子供を取り巻く環境が大変なことになっていきます。奈良でも罪もない有山楓ちゃんが殺害されるということもありません。この際、地域のあり方を徹底的に考え直さねばなりません。

**上田市長** 子供たちが安心して外に出られるような地域の安全について、いろいろな試みを行ってきました。たとえば、今回の事件では、新聞販売店に協力を求めることにしました。つまり、子供たちの下校時間と夕刊を配達する時間がほぼ一致しますので、町の中で子供たちを見守って欲しい。また、一般の方も犬の散歩を下校時間など合わせてやっていただけるとありがたい。日常生活の中で子供たちを見守る末長い運動にしていきたいと思えます。



「数珠くり法要」に参列する関係者

**中野県議** 犯人が逮捕されれば一件落着というわけにはいきません。通学路をいつまでも保護者やボランティアの方々が監視することはできませんから、このアイデアは大変いい。自然に雰囲気の中で犯罪を未然に防ぐ。2度と今回のような事件を起こさないことが楓ちゃんの死に報いる方法でしょう。

**上田市長** 本当に不幸な事件ですが、これを地域を見直すきっかけにしたいと思っています。

**子供たちに正しい歴史認識を**

**中野県議** 今年は終戦から60年の節目の年になります。楓ちゃん事件をはじめ、子供が親を、親が子供を殺したり、虐待したりと異常な社会になっていきます。こんな社会になつた一因として、心の教育に問題があると確信しています。今改めて日本の歴史や文化、伝統を見つめ直す必要があります。戦前の一時期の誤りをもつて、日本のすべてを否定するよ

うな歴史教育が行われていることに大変心配をしています。正しい歴史教育をしなければなりません。教育者でもある上田市長は、どのように考えておられますか。

**上田市長** 戦後60年、一貫して「個」を追い求めてきた。個人、個性を大切にし、子供には個室を与えるのだと。その結果「孤」つまり「孤独」になった。戦前は何か悪かったというのは間違いでしよう。郡山藩最後の藩主柳澤保申氏は、明治になって郡山に銀行を設立したり、繊維産業、金魚を盛んにするなど、大変活躍された。こうしたことはあまり知られていません。ふるさとの歴史でも埋もれていることがたくさんあります。

**中野県議** 私は、今学校で使われている歴史教科書を親に見て欲しいのです。戦前の日本は、悪いことばかりしていたようにしか表記されています。日本人として誇りを持っている教育をしなければなりません。日本人に反日教育をしてどうなるのでしょうか。日本人が日本のすばらしいことを知らなくて、どうして国際人になれるのでしょうか。

**上田市長** 日本はアメリカより4倍ぐらいの歴史があります。このことをうらやむアメリカ人がたくさんいます。日本人

なら日本を自覚し、自分のことを正しく伝えられることが大切です。

**中野県議** 私は、議員になる2年前、平成九年拉致疑惑の最中、北朝鮮の平壤へ行く機会がありました。現地でも印象深かったのが、教育現場を見学した時の子供たちの表情でした。みんな統制され、同じような笑顔をしているのです。これは私にとって異常なことでした。これに対して、日本の幼稚園では、先生のいうことを聞かず、自由勝手に騒いでいる子、座っている子、いろいろです。これも少しは、考えずにはいられない様でした。自由も大切、社会性も大切。自由もほどほどに、統制もほどほどに。いい按配の教育が必要です。

**上田市長** とにかく、私たちがもつ文化のすばらしさを未来に伝える、子供たちに教えることです。戦後の教育を覆っていたタブーを打ち破る時期にきているといえるでしょう。先の話のあった国際性についていえば、幕末の安政元年、北方領土を確定した日露親和条約が伊豆の下田で締結されたのですが、その時の日本側の全権が、大和郡山市



かりの筒井順慶の子孫、筒井政憲と奈良奉行を務めたこともある川路聖謨の一人。この条約が締結された2月7日は北方領土の日になっている。現代にもつながる重要な役割を演じた人が身近にいる。歴史教育の素材はあるのです。

**イデオロギー抜きの教育議論を**

**中野県議** 身近な歴史、文化教育ということでは、お年寄りの知恵を生かすこと。「子供は国の宝、お年寄りは国の財産」なのです。さて、私は、自民党奈良県連の政調会長に就任させていただき、自民党の代表として県議会の各会派と意見交換する場ができました。そこで、教育問題について積極的に議論していきたい。真に正しい教育とは何か、イデオロギーを持ち込まずに話し合いたい。日本人としての議論をしたいと思うのです。

**上田市長** 現代の子供たちは夢がもてない。そして、自由をはき違えている。それは、自由というものを勝ち取った



H16.10.6 奈良新聞政経懇話会(奈良ロイヤルホテル)

ものでなく、与えられたところに問題があるのでしようが。未来に対する明るいビジョンを示すことができなかつた日々考えています。

**中野県議** 全く同感です。教育改革として、ゆとり教育の見直しが進められているようですが、学力と共に道徳教育も行う必要があります。あわせてゆとり教育という美名のもとに行われている土曜休日

はやめるべきです。

**上田市長** 土曜日の授業を復活させるのは私も賛成です。ただし、学校は明るく、魅力あるものにならなければなりません。そのための努力は惜しみません。また、大和郡山市では、不登校児童・生徒のために教育特区の認定を受けて独自の取り組みを行っています。これについては、全国から多くの関係者が視察に訪れ、大変注目を集めています。

**中野県議** とにかく、教育問題、特に心の教育については、共にならばっていきましょう。

**よりよい大和郡山市へー  
上田市長を全面支援**

**中野県議** さて、今年は大和郡山市にとって、一つの節目になります。私はもちろん、私を支持してくれている人も、上田市長に全面的な信頼を寄せています。ぜひともよりよい大和郡山づくりに励んで欲しいと思います。

**上田市長** 私にはやるべきことがたくさんあります。これを実現するために、中野県議の助力を得なければなりません。  
**中野県議** 今年こそ、いい年にしたい。よりよい大和郡山、奈良、日本をつくるため、今年もよろしくお願ひします。

**中野まさふみ後援会 日帰りバスツアーのご案内**

下記日程にて開催させていただきますので、皆様のご参加を賜りますようご案内申し上げます。  
詳細等は事務所までお問い合わせ下さい。

- とき 平成17年4月24日(日)
- ところ 愛知万博

豊かで住みよい、魅力ある奈良県・大和郡山市をつかっていくため、皆様の声をお聞かせ下さい。  
お電話、ファックス、HPなどでお寄せくださいますようお願いいたします。

**奈良県議会議員 中野まさふみ事務所**

〒639-1027大和郡山市池之内町461-3  
電話0743-54-3300 FAX0743-54-3305  
インターネットホームページhttp://www.n-masafumi.net/  
E-メール nakano8@gaia.eonet.ne.jp

後記——本来ならば中野まさふみより皆様へ年賀の挨拶状をお送りさせていただきますところですが、公職選挙法上、年賀ハガキの送付は禁止されています。大変申し訳ございませんが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

後援会事務局